

# 成果報告書

|       |  |       |  |       |
|-------|--|-------|--|-------|
| 補助金種別 |  | 活動促進型 |  | 活動発展型 |
|-------|--|-------|--|-------|

|             |                                                                         |       |          |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------|-------|----------|
| 団体名         | 清水口つながり協力委員会                                                            |       |          |
| 事業名         | 清水口つながり事業                                                               |       |          |
| 事業概要        | 清水口地区における親睦のため、清水口地区夏まつり実施の実質的な運営母体となること。<br>親睦を基に、地域の防犯・防災のための活動を行うこと。 |       |          |
| 補助事業費<br>総額 | 82,758 円                                                                | 補助申請額 | 70,000 円 |
| 実施期間        | 2024 年 4 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日                                       |       |          |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)事業の<br>目的 | ①事業を実施することになった理由・背景（市民ニーズ・地域の問題点や困りごと・地域課題など）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|              | 地域の高齢化に伴い、自治会活動が低迷し、地域のつながりや世代のつながりが希薄化しています。そういった中、地震や火災などの有事の際には、自治会内で解決できない問題が想定されてきました。<br>これまでは、地域の夏まつりをサポートするという有志の団体ではありましたが、幸いにもいろいろな自治会に所属するメンバーが集った団体ということで、自治会という地域を超えた活動を行うことが必要ではないかという思いをもって本事業を実施することになりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (2)事業の<br>内容 | ②事業実施前考えた目標（ねらい・効果）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|              | もともと、夏まつり実施のサポートを通じて、自治会を超えたメンバーの親睦が図られています。さらに、そのメンバーは、地域の防犯や防災に関心が高く、これまでも自治会内で個人個人の活動を行ってきました。それを団体での活動を行うことで、地域の親睦を図り、そのことによって、地域の防犯や防災に役立てていくことが目指すことや狙う効果になります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| (2)事業の<br>内容 | ①事業の具体的内容（いつ[時期]、どこで[場所]、だれに[対象]、なにを[内容]、どのように[方法]、どれくらい[頻度・回数]）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|              | 2024 年 4 月から 8 月まで、毎月、夏まつり実行委員会の全体会議のための事前打ち合わせを行い、業務内容の確認、手配、実施、運営のための協議を行いました。<br>2024 年 5 月から 8 月まで、毎月、実行委員会の全体会議のため、会議運営を行いました。また、まちサポ事業への協力として、夏まつりのまちサポ事業を行いました。<br>2024 年 7 月 21 日に、夏まつりで活用する櫓の設営を実行委員会とともに行いました。<br>2024 年 8 月 3 日には、夏まつりを実施運営し、2025 年 8 月 4 日には、櫓の撤収などの後片づけを行いました。<br>2024 年 9 月には、今後の夏まつり及び防災活動についての検討を行いました。<br>2024 年 11 月 10 日には、防災活動として「そなエリア」見学を行い、防災についての知識習得に努めました。<br>2024 年 12 月 22 日には、市の防災講習会に参加しました。<br>2025 年 1 月 19 日には、まちづくり協議会設立準備会の説明会に参加しました。<br>2025 年 2 月 2 日には、市の防災訓練に参加しました。 |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | <p>2025 年 2 月 6 日には、横浜で開催される「震災対策技術展」を視察し、防災時における設備について検討しました。</p> <p>2025 年 3 月 15 日には、市の社会教育団体説明会に参加し、まちさぼの団体として団体申請することになりました。</p>                                                                                                                                                                                        |
|                | <p>②事業を実施した体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業に関わった人数や体制</li> <li>・ 協力・連携した外部の組織や団体等</li> </ul> <p>事業には、28 人がかかわっています（白井市以外の住民を含めます。）</p> <p>体制としては、委員長、副委員長を中心とした事務局を設置し、基本的な運営の準備、周知を行っています。</p> <p>協力・連携する団体としては、清水口地区にある 3 丁目自治会、第一地区自治会、第二分譲自治会、第四住宅自治会、団地自治会、八幡自治会およびこれらの自治会で構成される 13 自治会地域支部になります。</p> |
|                | <p>③告知方法事業</p> <p>夏まつり実行委員会の活動による 13 自治会地域支部を通じて、事業についての周知・PR を行いました。</p> <p>また、夏まつり当日の活動において、委員会への参加を呼びかけました。</p>                                                                                                                                                                                                           |
| (3)問題とその対応策    | <p>事業実施中に起きた問題とその対応策</p> <p>事業実施中に起きた問題としては、主要な事業推進メンバーが諸事情により、地域を離れたことです。</p> <p>対応策としては、そのメンバーとのリモート会議による業務分担方法の策定と現メンバーへの業務分担の再割り振りになります。</p>                                                                                                                                                                             |
| (4)事業の成果と今後の課題 | <p>①事業を実施した得られた成果、効果、良かったこと</p> <p>これまでは夏まつりをサポートする有志の団体といったこともあり、各自ができることを各自が行うという側面もありましたが、団体としても目的を明確にしたことで、より積極的な活動への参加も見られ、今後の活用促進が期待されるものとなり、継続した事業推進が見込まれます。</p> <p>そのことからまちづくり協議会設立準備会への参画も求められており、事業発展においては、準備会の動向などを見据えながら、地域貢献について考えていくべきだという展望を思っています。</p>                                                       |
| (4)事業の成果と今後の課題 | <p>②今後の課題</p> <p>まちづくり協議会設立準備会への参画も求められており、事業発展においては、準備会の動向などを見据えながら、地域貢献について考えていくべきだという課題を思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                       |

＊清水口夏まつり風景



\*夏まつり レンタル照明



\*そなエリア見学



1



2



3



4



5



6



7



8



9

〈活動の周知・継続〉

名刺を作り知人を勧誘したり



10

〈活動の周知・継続〉

しろい市民まちづくり  
サポートセンター前には

PR板を設置してもらいました



11

〈令和5年度の活動〉



隊員は13人

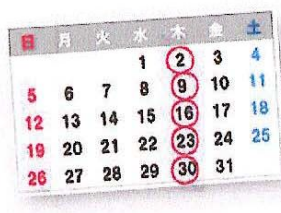
とりあえず元気な高齢者



12

〈令和5年度の活動〉

活動は 毎木曜日の 午後2時～4時

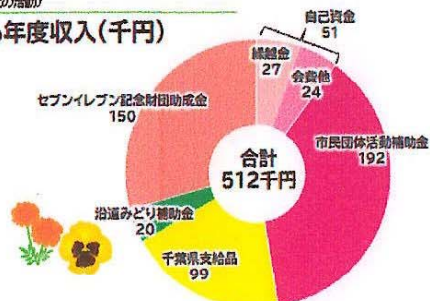


雨ニモマケ  
風ニモマケ  
雪ニモマケ  
暑サ  
ニモマケ

13

〈令和5年度の活動〉

令和6年度収入(千円)



14

〈令和5年度の活動〉

白井市●活動発展型の補助金で



など多くの備品・消耗品をそろえることができました

15

〈令和5年度の活動〉

千葉県●印旛土木事務所から アダプトプログラムに基づき  
次のような消耗品の支給を受けました

16

〈令和5年度の活動〉

セブンイレブン記念財団

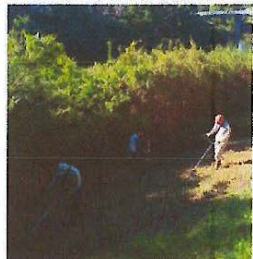
●助成金で次の備品を購入しました。



17

《令和5年度の活動》

これらを使って笹竹を刈り払うと... 水辺が見えるようになり



通学路の見通しも良くなりました



18

《令和5年度の活動》

堤体を這いまわる葛

活動前 (2020)



活動後 (2023)



冬には鴨が羽根を休めるように

19

《令和5年度の活動》

倒れた竹林には ゴミも捨てられ



20

《令和5年度の活動》

南山公園で見た小動物

これらの棲息環境保全にも配慮し...



タヌキ



カヤネズミ



ウグイス



カワセミ

水辺から5mは  
笹林を残しています

21

《今後の展開》

笹を刈り取った後には

桜を植えたい



22

《今後の展開》

水生鳥跡地は ビオトープか...

葛蒲園か... チューリップ畑か...



23

《今後の展開》

南山小学校区まちづくり計画に...

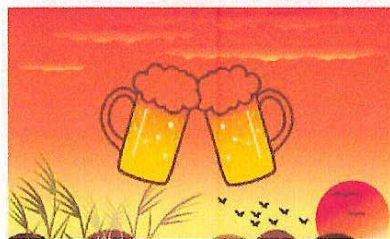
園児や高校生も参加して



南山公園再生を

24

きれいになった法面で「夕陽に 乾杯！」するのが夢



〈今後の展開〉

### 活動発展型の補助率

1回目 ➡ 2・3回目

| 自己資金      | 市補助金      |
|-----------|-----------|
| 20% ➡ 50% | 80% ➡ 50% |

自己資金が乏しいので

残念ながら  
この補助金  
への応募は  
あきらめます

これまで  
ありがとう  
ございました

グリーンレンジャー

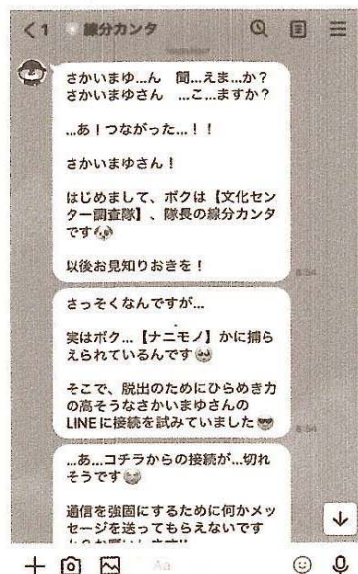


### 【謎解き内容】

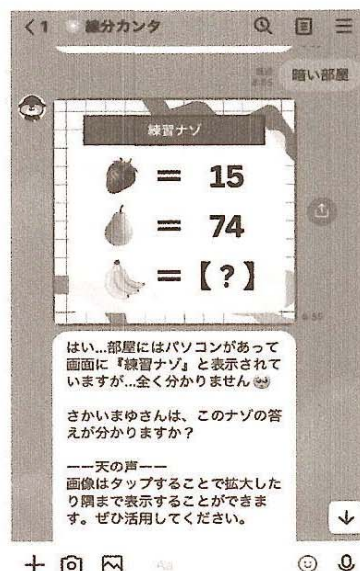
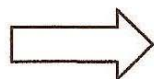
- ① チラシ等にある謎解き専用の QR コードを読み取ります。
- ② 謎解き用ラインに登録します。
- ③ 以下、謎解き開始からの内容となります。

謎解きのストーリー設定、練習、本番となります。

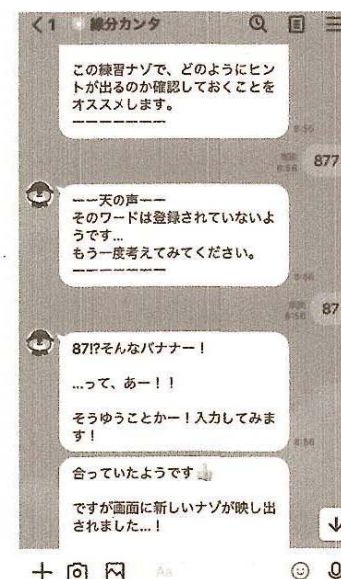
初めのプロログ部分で、謎解きができる時間は 9:30~15:30 であること、休館カレンダーに準じた開館日にできること、問い合わせ窓口のお知らせのアナウンスがあります。



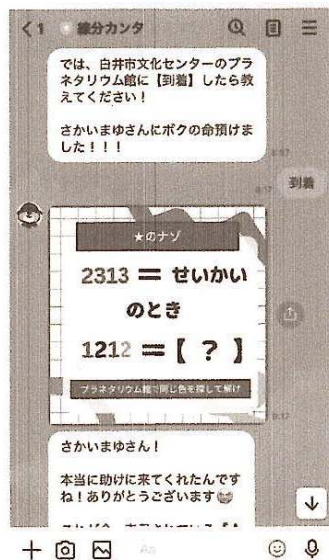
プロログで説明があります。



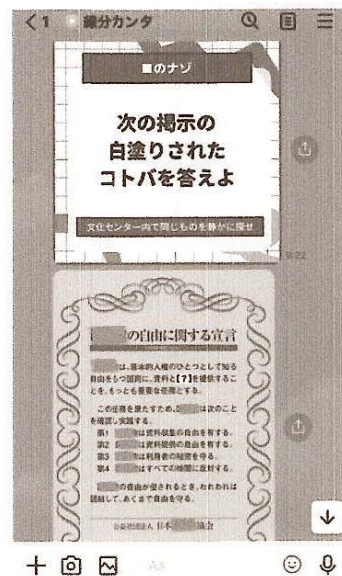
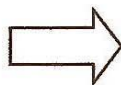
練習問題です。



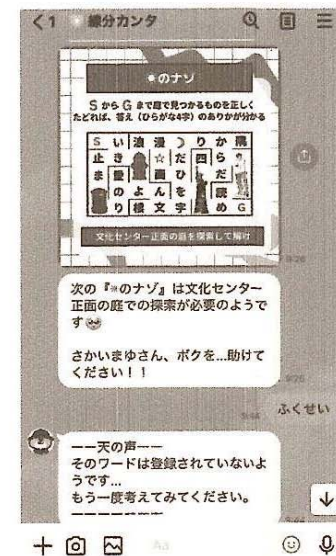
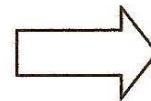
ヒントの出し方もアナウンスし、練習できるようにしています。



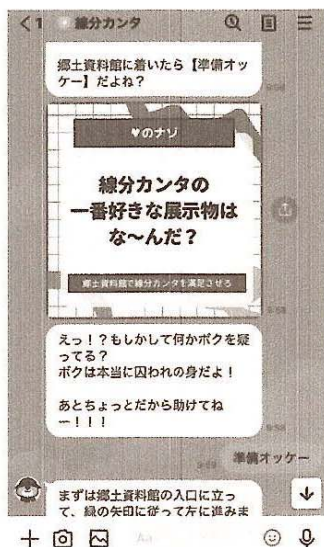
文化センターへ誘導。  
1 問目の謎解きはプラネタリウムの惑星の重さ比べコーナーから出題。



解答すると次の謎解きが自動で出題されます。2 問目は図書館に貼ってある宣言から出題。



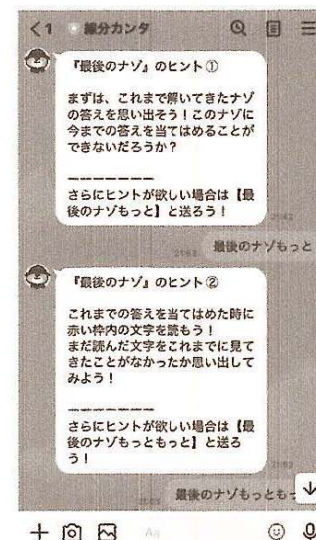
3 問目は正面入り口にあるミロのヴィーナス像から題。ポスト、石の灯籠(月)、ヴィーナス像の絵をたどり文字をつなげていって謎の答えがあるところを探す構造です。



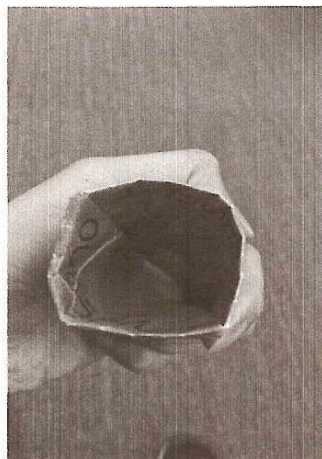
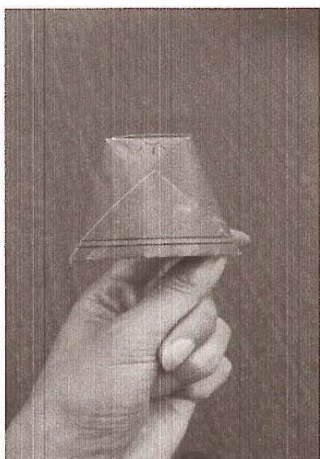
4問目は郷土資料館から出題。  
逆刃刀、ブランデー樽、昭和レトロ、サシバと案内があり各単語について一言豆知識をカンタがつぶやく設定になっています。  
最後に謎解きのキーワードにたどり着きます。



今までの謎解きで出た言葉を組み合わせて最後の謎解きに挑戦します。  
ここで出た答えが、電子キーの金庫を開ける鍵となります。



答えがわからない場合はヒントを出すことができ、それでも分からなければ、答えをカンタが言ってくれる設定になっています。



金庫を開けると B5 サイズの紙があるので折っていきます。カンタ君の帽子ができます(折り紙のコップと同じです)。これで救出成功となります。中に文化センター30 周年の文字があり、それを LINE に入力するとアンケートにつながって終わりとなります。

白井市文化センター なぞときゲーム

# 捕らわれの 文化センター 調査員を救え

日程・7月11日～8月31日  
会場・白井市文化センター  
ほか・開館11時にのみ開館  
料金・無料(通入料は白井市)

これは白井市文化センターを  
舞台にLINEを使って物語を  
進める体験型イベントです

イベントの  
詳細はこちら  
主催 白井市文化センターを未来につなぐ会

LINEはコチラ▶  
など製作・協力 しろいdeあそび

チラシデザインの案です。

